

## 第12回全日本大学選抜相撲金沢大会新型コロナウイルス感染防止対策

大会事務局作成

## 留意事項

## 1 大会前

## (1) 感染防止対策品の準備（出場チーム、大会関係者のみ）

- ①消毒液等、必要な除菌用品は主催者で用意するが、各自でも用意すること。
- ②体清拭用のタオルや取組の際に外すマスクを保管する袋、マイボトル等、必要な感染防止対策品を用意すること。

## (2) 練習及び移動（出場チーム、大会関係者のみ）

大会前の練習及び会場への移動については、各校で責任を持って感染防止対策を講じること。

## (3) 健康観察（②は出場チームのみ）

- ①大会前2週間の健康チェックを行い、健康チェックシートに記入すること。
- ②PCR検査を実施すること（大会当日より5日以内）。  
ただし、PCR検査の陰性証明書の提出は必要とせず、監督に一任する。

## 2 大会中

## (1) 出場チーム、大会関係者、観客の受付

- ①マスク着用確認  
※マスクを着用していない者の入場は認めない。
- ②健康チェックシートの回収・確認  
※健康チェックシートの提出のない者の入場は認めない。  
※チェック項目に該当する者（該当者がいるチーム）は入場を制限する場合がある。
- ③検温  
※37.5℃以上の者及び体調不良者（該当者がいるチーム）は入場を制限する。
- ④手指消毒
- ⑤入場制限は行わない。ただし、留意事項を厳守できない場合は、入場を認めない。

## (2) 観客（応援者）の行動

- ①こまめに手洗い、手指消毒を行うこと。
- ②マスクを着用すること。
- ③大きな声で会話、応援等をしないこと。（応援は拍手や手拍子に限る）
- ④観戦は決められた場所で、周囲の者と十分な距離を確保するよう努めること。
- ⑤会場内で飲食する際は黙食とする。

## (3) 選手の行動

- ①こまめに手洗い、手指消毒を行うこと。
- ②取組時以外はマスクを着用する。息苦しくなった場合は外しても良いが、周囲の者との距離を確認して外すこと。
- ③更衣室や練習土俵の使用は時間差をつけて行うこと。

- ④取組前後には、体表面を清拭し清潔を保つこと。
- ⑤大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑥指定された場所で待機、観戦し、周囲の者と十分な距離を確保するよう努めること。
- ⑦マスクを保管する袋、タオル等は、自分専用のもを使用すること。
- ⑧うがい用の水は、必要であれば持参すること。
- ⑨シャワー室では、シャワーの使用は禁止とし、足を洗うことのみとする。

#### (4) 監督の行動

- ①こまめに手洗い、手指消毒を行うこと。
- ②マスクを着用すること。
- ③指導や指示は事前に済ませ、大会中に大声での指導や指示は行わないこと。

#### (5) ごみの処理

ごみや飲み残しの飲料は、ビニール袋等に入れ、本人が持ち帰ること。

#### (6) 審判員

- ①主審以外の審判はマスクをする。
- ②協議は、マスク着用のまま行い、通常以上の間隔を空ける。

#### (7) 会場責任者の巡回

大会中は会場責任者が巡回し、感染防止対策の指導に従わない場合は退場を求めることができる。

### 3 大会後

- (1) 大会後2週間は不要不急の外出を避け、外出する場合は感染防止対策に努めること。
- (2) 大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに大会主催者に報告すること。
- (3) 提出された健康チェックシートは、4週間後に廃棄する。

### 4 その他

(公財)日本スポーツ協会の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(令和3年11月15日改訂)及び(公財)日本相撲連盟の「相撲における競技会再開ガイドライン」(令和2年7月15日改訂)に準じて対策を講じるものとする。なお、上述以外で感染防止対策を追加する場合がある。